



2018年6月2日
武甲山(1304m)

kumamoto

10年振りに二百名山の一つ武甲山を企画した。武甲山は石灰石の山で北方向から見ると山頂まで採掘が進み山肌は木がなく、痛ましい姿を晒している。梅雨入り前の6月2日に決行し、参加者は布目さん、小山さん、吉松さん、能勢さん、池戸さん、熊本の6名。 横瀬駅からタクシーで一の鳥居まで入り、山頂から秩父鉄道の浦山口に下山する縦走コース。 参考までにコースMAPを下図に示す。



男性4人は池袋6:50発の特急ちちぶ3号で、布目さん、小山さんは武藏野線乗り継ぎと入間から普通で、横瀬駅8:15に集合した。



横瀬駅から眺めた武甲山。採掘跡が痛ましい



予約済みのタクシー2台で一の鳥居へ向かう



車は石灰石工場やセメント工場の間を抜けて進む



8:30 一の鳥居（標高約 500m）に到着した



各自ストレッチで準備体操



8:35 一の鳥居を出発する。
今日は晴れて陽射しも強く
暑くなりそうだ。

一の鳥居が一丁目だ。



鬱蒼とした杉並木のコンクリート登山道を 10 分進むと 4 丁目の標石が出てきた。(8:40)



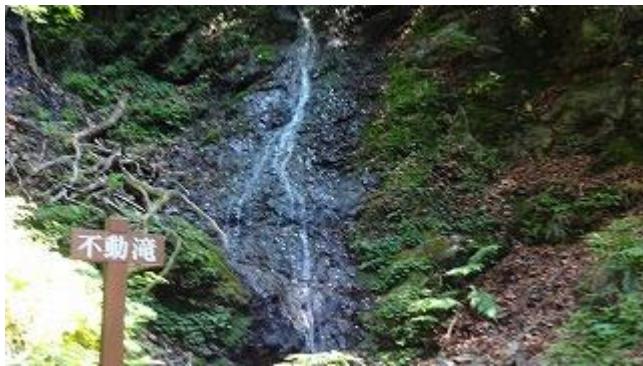
10 分程登ると早くも十丁目になり、更に数分で持山寺跡・シラジクボへ分岐だ。勿論武甲山山頂を目指す。



一の鳥居から歩き始めて 30 分経過。
大杉の広場まで 50 分、武甲山頂まで
1 時間 40 分と書かれた標識が出てきた。
まだ、先は長い



9:05 沢に掛かった頼りなさそうな橋を渡ると直ぐに・・



不動滝が現れた。そこは登りで唯一の水場であり、冷たくて旨かった。名水百選に入っている。



ここは十八丁目で祠があり、最初の休憩を取った。9:10



更に数分進むと、今度はガッカリ強固な橋が現れてこれを渡る。(9:15)



9:16 武甲山御嶽神社の石柱があり、この辺りからフタリシズカが出始めた。

ここから始まって、山頂から下山するまでフタリシズカが咲く山全体が群生地だった。

当日見た時は、ヒトリシズカと間違えていたが、後で調べたところフタリシズカであることが判った。



9:33 二十七丁目に到着。二回目の休憩を取る



9:50 大杉の広場（標高 1000m）に到着したが、休憩せず先へ進む。山頂までまだ 50 分掛かる。



三十五丁目を過ぎると、山肌一面がフタリシズカの群生地となった。三十七丁目で三回目の休憩



四十丁目を過ぎると、丸太の階段状から大きな石のガレ場登山道に変わる。(10:20)



10:28 四十七丁目に到着したが、山頂が近いこともあり休憩を取らずに先に進む。
布目さんは暑さにバテ気味だ。



10:38 五十丁目に到着。山頂は間近だ。



更に 2 分後には五十一丁目で、山頂直下の十字路に到着。左コース（浦山口）が下山路になる。



10:42 武甲山山頂（五十二丁目）の御嶽神社に到着した。 神社の裏手が展望台だ。



御嶽神社の境内はコバイケイソウの群生地だったが、花はこれからだった。その中にマムシグサが・・・



10:50 山頂標識を囲んで記念の一枚を撮る。 地図では 1295m とあったが、1304mとなっていた。

ウィキペディア情報によれば、明治33年（1900年）の測量では 1336m だったのだが、山頂まで石灰岩の採掘が進み三角点が移動して 1295m となったのが昭和52年（1997年）。その後の調査で三角点より25m離れた、現在標識が立っているところが 1304m であることがわかり、国土地理院はこれを武甲山最高地点と改めたとのことだ。



山頂展望台からの眺めは・・・



秩父の街並みと、直下に採石のダンプが・・



展望台から神社前の広場に戻ったが、昼食を取る適当な場所がないのと、
まだ 11 時で時間が早いこともあり、下山路で良いところがないか探しながら下ることにした。(11:03)



下山路は御嶽神社の裏参道で、秩父鉄道浦山口駅までは約 3 時間と表示されていた。



下りコースは狭い登山道が続き、昼食が取れるような広い場所になかなか出会えない。



下山開始から 35 分経過し、広いスペースが現れた。ここは長屋屋敷の頭（1088m）で、水場も近くにあり、ここで昼食を取ることにした。（11:35）



思い思いのポジションで昼食、今回も布目さん、小山さんから沢山の惣菜を頂きました。ありがとう！



12:05 下山開始する。ここから浦山口まで、まだ 2 時間半の行程だ。

ここからの下りは高山植物が次々と現れ、目を楽しませてくれたが、それも一時で、大変な急下りの連続が控えていた。（高山植物は最後に纏めて掲載する）



風がなく、蒸し暑いなか、急下りが延々と続く



ヤケのヤンパチで万歳！
なんで万歳なのだ？



12:53 橋立川の上流に出た。ここで休憩を取る。



川の冷たい水で顔を洗い汗を拭き、ホッとし、一息入れる。
ここから少し先に進むと舗装された林道となり、



右に橋立川を見ながら橋立に向かって進む。



林道を 20 分進むと橋立神社の鳥居が、更に 15 分進むと (13:35)、
御嶽神社の鳥居が現れた。これが裏参道の入口か？



13:40 橋立鍾乳洞に到着した。ここから浦山口駅までは 10 分弱であり、ユックリ休憩する。

次に、武甲山で出会った高山植物を一覧にした。



ヒメウツギ



ヘビイチゴ



フタリリシズカ



ノリウツギ



フタリシズカ



コバイケイソウとマムシグサ



ハンショウズル



ズミ



ヤマアジサイ



ニガナ



アヤメ



エゾノレイジンソウ



コバイケイソウ



タチツボスミレ



ホタルブクロ



14:10 秩父鉄道 浦山口駅に着き、14:31 の電車を待っていると、「ピー」と汽笛の音が聞こえ・・



それは秩父鉄道を休日運転する観光用 SL 列車 C58 であった。浦山口には止まらず通過・・

我々は次の電車に乗り、お花畑駅で下車し西武秩父駅へ歩く。



西武秩父駅は昨年リニューアルされ、駅舎内に日帰り温泉「祭の湯」が出来た。

我々は先に、帰りの特急指定を確保し、温泉に向かった。



今日一日、タップリかいた汗を洗い流し、サッパリして「祭の湯」入口前の食堂で解散式だ。

今日は、梅雨入り前の快晴の一日で、タップリ汗をかき、約6時間弱で
約3万歩の行程は厳しかったが、夏登山に向けての準備として良い山旅ではあった。

お疲れ様でした。

